

消化器の検査

○ 腹部超音波(エコー)検査

お腹に超音波をあて肝臓、膵臓、胆嚢、腎臓などを検査します。安全で、副作用や痛みがありません。体型によって臓器を描出しづらいつらという欠点があります。

○ 内視鏡検査(胃・大腸カメラ)

先端に小型カメラを口や鼻、または肛門から入れて消化管内部を観察する検査で、**癌の早期発見に有効です。**胃カメラは口から管をいれる経口内視鏡と、鼻から入れる経鼻内視鏡があります。



↑内視鏡の先に取り付けられた処置具で病気の部分の切除、止血や、胆石の除去などが可能です。

経口は検査にかかる時間が短く、検査と同時に内視鏡の処置具を用いた治療が可能です。経鼻内視鏡は嘔吐反射がおこりにくい、つまり吐き出しが少なく、また検査中に会話ができます。また鎮静剤を用いて眠った状態で苦痛なく内視鏡検査を受けることもできます。

○ ピロリ菌検査

ピロリ菌は胃・十二指腸潰瘍を起こしやすくする細菌です。呼吸(吐いた息)などで検査しますが、胃カメラと併せて行う必要があります。特に五十歳以上に多く、日本人のピロリ菌感染者は六千万人とも言われます。飲み薬による除菌が可能で潰瘍の再発を防止するとともに、胃癌の発生リスクを三分の一に減少させます。

健康な生活のために

糖尿病も癌も、その発症と予後に生活習慣の影響を受ける疾患です。

バランスのよい食事や肥満対策、運動、禁煙、節酒をすることは糖尿病と癌の両方を予防するという観点から非常に重要です。

定期的に検査を受けましょう!

- **早期診断・早期治療**が大切
- 症状のある方はもちろん、**症状のない方も腹部エコー検査と胃カメラ**を受けましょう。
- 疾患がない、ということを確認することも大切です。

院長より

糖尿病患者さんの最近の実態として、

心筋梗塞や脳梗塞が減りつつある一方、癌が目立つようになってきています。

当医院では、消化器専門の立場から首藤先生や中村先生に御診療・御指導をいただいています。腹部エコーと胃カメラを積極的に受けて下さい。

編集後記

野菜のおいしい季節になりましたね。苦手な野菜も調理法を変えるとおいしく食べることが出来ますよ!

第三十六回患者講習会は平成二十五年十一月です。皆様のご参加をお待ちしています。

